

# 『風は南から』

令和6年度 校長室便り  
(3月12日)(第24号)



## 誰かの人生に役に立つ仕事をしたい

先日、前任校で10数年前に担任をした生徒から連絡をもらいました。彼女は本当に努力家で、一年間の予備校生活を経てお茶の水大学に入学し、今では東京で銀行員として働いています。2年前に結婚をして今年の5月からご自身は休職し、ご主人の転勤で3年間イギリスで生活することになったと書いてありました。そして、いつか成長した姿を見てほしいと添えてありました。お世辞にも私がよく口にしていた言葉が印象に残っていたらしく、「誰かの人生に役立つ仕事をしたい」という思いでいろいろ挑戦した結果、今の仕事にたどり着いたようです。10年以上経っても私の頭の中では彼女は当時のままです。再会を楽しみにしつつ、自分も負けぬように成長して再会しなければならぬと決意を新たにしたいところです。

## 「百人一首大会」に向けて



3月中旬に国語科の先生方が百人一首大会を企画してくださっています。武道館から声が聞こえてきたので見学させてもらいました。

3月4日(火)1限目に1年3組、2限目に1年2組

が練習していました。集中力も必要ですし、勉学を超えて日本文化に触れるよい機会だと思います。ぜひクラスやチームのために頑張ってください。

## 第75回 卒業式



3月3日(月)鹿児島県教育委員会、知名町長、和泊町長をはじめ、保護者や多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、第75回卒業式が挙行されました。卒業式に際して、卒業生の関係者から白ユリ等のご提供があり、会場はまさに「花の島沖永良部島」、色取り取りの花で飾られ、式の間中ずっとよい香りが漂っていました。

式では、県総合教育センターの岩切課長をはじめ、多くのご来賓の方々から温かい饒の言葉をいただきました。私が一番印象に残ったのは、答辞の福田琳さんの保護者へのお礼の言葉でした。「これまでどんな時でも味方でいてくれて愛してくれてありがとう。好きなことを思う存分させてくれてありがとう。必ず恩返しをします。その時まで長生きしてください。」そして、送辞では田中生徒会長が「私たちのスローガン雲外蒼天を思い出してください。雲の向こうには、どこまでもえらぶの青い空が広がっています。私たち在校生は、先輩方が築き上げてこられた素晴らしい伝統を受け継ぎ、これからも精進してまいります」と歴史を引き継ぐ力強い決意を述べました。

多くの保護者や地域の方々に見守られ、77名の卒業生が巣立っていきました。天気にも恵まれて、思い出に残る素晴らしい卒業式になりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

## 第3回「オンライン合同授業」



2月27日(木)2年生普通科「せりよさ(総合的な探究の時間)」では、5・6限を使って第3回オンライン合同授業を行いました。今回は、富山県の片山学園高校(68名)、岩手県の岩手女子高校(50名)、本校(34名)計152名が参加しました。同じ時間帯に「学校関係者評価委員会」も開催していましたので、委員の方々にも授業を見学

してもらいました。

2年生それぞれが、グループに分かれて、これまで取り組んできた探究の内容を発表し合っていました。3月は、「ポスターセッション」という形で発表し、1年生や地域の方々にも見学していただくと考えています。また、同日に東京大学大気海洋研究所・国際地域連携研究センター・奄美研究拠点事務室の平林先生が来校され、もし沖永良部島内の「暗川や海」の研究をしたい生徒がいいたら、お手伝いをしたいという連携のご提案をいただきました。与論高校の生徒は、東大の先生方のご協力でも発表しています。興味のある1年生は、ぜひ研究テーマとして考えてみてください。

## 同窓会入会式



2月28日(金)卒業式の予行の前に、同窓会入会式が行われました。同窓会からは会長の福井源之介様(S54卒)と副会長の平勝美様(S60卒)が出席さ

れました。福井会長からは、卒業して何か困ったことがあれば、各支部の同窓会の先輩方を遠慮なく頼ってほしいこと、そして、饒に前向きな人間になること、考える人間になること、好奇心の強い人間になることの大切さを話されました。次に、新入会員を代表して、松村哲平さんが宣誓の言葉を述べ、副会長の平様から卒業記念品が贈呈されました。

人が成長するには、「良き師と出会うこと」も大切です。同窓会や沖州会に積極的に参加して、何でも相談できる「良き師」と出会ってください。

## 「体育の授業 相互評価」



3月4日(火)体育科の白石先生から、普通科1年生の生徒で、選択競技の生徒同志の試合観戦をするので試合を見ませんかという誘いを受けました。早速見学させていただきました。男女混合のチーム編成で、サッカーとバスケットボールの試合を観戦し、お互いで評価し合うという授業でした。級友の普段見えない側面を発見することができるよい機会になったと思います。男女問わず白熱した試合が続く、つい応援に熱が入ってしまいました。楽しい授業でした。